

2014年1月16日

報道関係者各位

No.-62109

株式会社 東陽テクニカ

Magtrol社 ロードピン/荷重センサの取扱開始

(温度補償付 ロードセル内蔵型)

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区・代表取締役社長:五味勝)は、トルクセンサやモータ用計測システムで定評のあるMagtrol社製 ロードピン/荷重センサの販売を開始します。

Magtrol社 ロードピン は、負荷や力を測定できる温度補償機能付センサです。ロードピンは通常シャフトの代わりに機械的に装着され、測定された負荷に比例した信号を出力するひずみゲージが内蔵されています。特長は以下の通りです。

- 2.5-1250 kNレンジ(0.28 - 140トン)
- 許容過負荷: 定格負荷の150%
- 破壊過負荷限界: 定格負荷の350%- 700%(モデルによる)
- フルブリッジひずみゲージ式温度補償センサ
- ステンレス製
- 外部からの機械的および化学的作用の影響を受けない(ピン内部のひずみゲージ)
- 過酷な環境での使用に最適
- 堅牢な設計、メンテナンスフリー



汎用モデル LB200シリーズ

また、お客様のご要望に応じて特注のロードピンを承ります。厳しい環境でのアプリケーションでもとても有効です。例として以下のような特注が可能です。

- ・寸法のカスタマイズ: 長さ: 600mm、直径250mmまで
- ・高負荷容量: 2500 kNまで
- ・拡張動作温度: -40°C - $+200^{\circ}\text{C}$

・高圧力:最大100 bar

その他、ロードピン以外でも時計用の微小荷重から大型動力機用荷重センサ、ケーブルの引張力等の計測用ケーブルセンサ、伸縮計も取り扱います。

これらはロードピンで計測できないレンジをカバーし、ピンを装着できない様々なアプリケーションで使用できます。負荷監視装置や負荷モニタ信号調整表示器を使用することで、負荷や過負荷をチェックする理想的な計測システムを構成できます。



荷重センサ

ケーブルセンサ

伸縮センサ

価格(税抜):¥198,000- ~

販売目標:初年度50台、次年度150台

発売日:2014年1月16日

■ Magtrol社について

Magtrol社は米国ニューヨークに本部を置き、約60年の歴史を持つトルク計測、負荷ブレーキ、荷重計測を専門とする計測器メーカーです。子会社、販売代理店、エージェントのネットワークにより世界37ヶ国をカバーし、モータや工業機械業界のR&Dからフィールドに至る幅広い測定器の開発、マーケティング、セールスに携わった経験を持つとともに、常に最先端に対応できる製品開発を目指しています。

■ ロードピン LB200シリーズ 仕様

Model(s)	負荷		直径
	kN	tf	mm
LB 210	2.5	0.28	24
LB 211 / LB 231	5	0.56	24
LB 212 / LB 232	10	1.12	24
LB 213 / LB 233	20	2.25	24
LB 214 / LB 234	50	5.62	35
LB 235	70	7.87	45
LB 216 / LB 236	100	11.24	48
LB 217 / LB 237	200	22.48	65
LB 218 / LB 238	500	56.20	85
LB 220 / LB 240	1000	112.40	100
LB 221 / LB 241	1250	140.50	120

Magtrol社製ロードピン/荷重センサに関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 営業2部 Magtrol担当

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: magtrol@toyo.co.jp

Magtrol社 ロードピン/荷重センサ商品紹介URL: <http://www.toyo.co.jp/magtrol-LFW/>

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、担当部署、WebサイトのURLなどは、本リリース発表時点のものです。